

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	12	学校名	畝傍高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	畝高イルミネーション Uneil (ウネイル)
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	特別活動（生徒会活動） 学校生活の充実を図るために計画を立て、役割を分担し、協力して運営をすることで自主的、実践的に取り組む。
連携・協働相手	檀原市社会福祉協議会、晩成ふれあいサロン 晩成小学校区地域福祉推進委員 本校近隣の地域住民
地域と共有している目標・課題等	学校活動や通学路でお世話になっている地域の方々と交流を図り、学校の取組を知っていただくとともに、日頃の活動への協力に対して感謝の気持ちを伝える。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
登録有形文化財の校舎に彩りを添えるようにLEDイルミネーションで畝傍高等学校を飾る。生徒会役員だけでなく有志生徒の協力も得て、畝傍高等学校生の未来に向かう希望を表現し、特に受験を控えた3年生を激励した。また、地域の方にも来ていただいて、畝傍高等学校が楽しく魅力的な学校であることを外部に発信することができた。	

2. 事業の成果と課題

<p>生徒会役員が中心となってイルミネーションのレイアウトを考え、有志生徒の協力を得て、校舎正面玄関にイルミネーションを設置した。初日の点灯式には、檀原市の社会福祉協議会と連携して地域の高齢者サロン利用者を招待し、音楽部によるミニコンサートや築90年を迎えた校舎の案内を行った。点灯期間を1週間設け、生徒だけでなく保護者、近隣の方にも見に来ていただいた。来校された方との交流を通して、地域の方々が学校の活動にとっても関心をもってくださっていることを生徒たちが感じ取り、学校が地域に根付いて協働することの良さに気づくことができた。新聞やテレビの取材も受け、学校の取組を広く発信することもできた。</p> <p>今後も引き続き、地域の方々との連携を深めていくとともに、内容を充実したものにしていきたい。</p>

